

表 主要国における在留邦人（在留外国人）への接種状況

国	報告事務所	一般状況			邦人への接種状況						備考	情報とりまとめ日
		接種開始時期	ワクチンの使用状況（製薬会社別構成比） ※使用状況がなければ調達状況	接種の進捗	邦人の接種状況	邦人への接種は義務か任意か	邦人への接種の場合の 対象者： （駐在員（帰向家族含む）、現地職員）	費用 現地通貨 （円）	副反応が出た場合の健康被害救済制度 の有無	備 考		
タイ	バンコク	2021年2月末見込み	①シノバック（中国）：2月24日に初回発注分200万のうち20万回分が24日に到着。20万回分の到着後は80万回分、100万回分に分けて到着予定。 ②アストラゼネカ（英国）：6,100万回分を契約。24日に11万7,600回分が到着。EUの輸出規制のため、5～6月から主要系の製薬会社サイラム・バイオサイエンスがライセンス生産予定。 ③タイ製薬公団（GPO）・マヒドン大学：臨床試験中 ④ジョンソン・エンド・ジョンソン（J&J）：登録申請 ⑤チュラロンコン大学：4月に治験	NA	不明	任意の可能性が高い	タイ政府が検討中	不明	予算の範囲内で補償する仕組みをタイ政府が検討中	私立病院は独自調達でタイ政府より認められているものの、タイで承認されていないワクチンは使用できないため、現状はイタリアからアストラゼネカ製を輸入する方法がない。	3月5日	
インドネシア	ジャカルタ	1回目 1月13日 2回目 1月末	①シノバック 1月13日より使用開始 338万回使用（3,800万回分調達済） ②アストラゼネカ（COVAXファシリティ）3月末に460万回分が到着予定  ※2022年までの政府の調達計画（2月18日閣僚発言） シノバック（中） 29.4%（1億2,500万回分） アストラゼネカ（英） 19.4%（8,300万回分） COVAX 18.3%（7,800万回分） ノババックス（米） 17.3%（7,400万回分） ファイザー（米） 15.6%（6,600万回分）	1回目接種：228万6,123人 2回目接種：110万228人 （3月4日時点）	無（公的接種の対象外） ・但し、大使館や非営利国際機関の職員については、 ・政府公認の民間企業によるワクチン調達・接種「相互扶助プログラム」（4月開始予定）の対象。	任意	各国代表機関、非営利国際機関の従業員 ※外資系企業の従業員および家族が対象となるかについては、現時点で統一の見解なし。	事業主負担（詳細不明）	不明	国営製薬会社を通じてシノファームのワクチンを調達・使用予定。 出所：インドネシア商工会議所(KADIN)	3月5日	
オーストラリア	シドニー	2021年2月21日から	(2021年2月時点) （調達[予定含む]） ①ファイザー・ビオンテック（暫定承認）：2,000万本 （調達[予定含む]） ②英アストラゼネカ（暫定承認）：5,380万本 ③米ノババックス（試験段階）：5,100万本 ④コバックスファシリティの活用で2,500万本 ①～④の合計約1億5千万本を確保。	2月22日に6万3,140本を国内へ供給。2月28日までの1週間で33,702本の接種が完了。供給数に対する接種実施率は53%。	n/a	任意	ビザの種類に関らず、全てのオーストラリア居住者が接種を受けることが可能となる。	無料	n/a	出所：オーストラリア保健省、首相官邸  隔離施設の従業員や医療従事者、高齢者施設の入居者や職員が最初の接種対象者となる。	3月4日	
インド	ニューデリー	1回目：2021年1月16日 2回目：2021年2月13日	①アストラゼネカ（英）・Serum Institute of India（印）（Covishield） ②Bharat Biotech（印）（Covaxin）  ※ワクチン別の接種数は公表されていない。また、接種を受ける者がワクチンを選択することも認められていない。	3月4日の午前7時時点の接種者数は、1回目の接種を終えた人数が、1,373万9,121人、2回目の接種を終えた人数が、287万6,927人、延べ1,661万6,048件。	インド国内における外国人（日本人含む）の接種に関しては、現時点ではインド政府としての方針は正式に示されていないが、3月1日からの優先接種はインド国民を対象として開始されたと承知している。	未発表	未発表	（在留邦人に対してではなく一般への案内） ・全ての政府の医療施設での接種は（在留邦人に対してではなく一般への案内） ・全ての政府の医療施設での接種は完全無料、民間病院の場合は1回当たり最大250ルピーを負担。 250ルピーの内訳はワクチン代が150ルピー、手数料が100ルピー。	出所： ・接種の進捗：インド保健省ホームページ ・邦人の接種状況：3月3日付「インドにおける新型コロナウイルスに関する情報提供（Vol.29）」（在インド日本大使館） ・副反応が出た場合の健康被害救済制度の有無：2月17日付「インドにおける新型コロナウイルスに関する情報提供（Vol.28）」（在インド日本大使館）	3月4日		
中国	北京	中国各地で地域差があるが2021年1月初旬以降、各地政府の調達により接種開始。	1) 中国医薬集団（シノファーム）傘下の中国生物が開発した不活性ワクチン、2) 科興控股生物技術（シノバック・バイオテック）が開発した不活性ワクチン、3) 康希諾生物（カンシン・バイオロジクス）が開発した新型コロナウイルスワクチン（ウイルスベクターワクチン）、4) 国薬集団（シノファーム）中国生物武漢生物制品研究所が開発した不活化ワクチン	2月10日の國務院記者会見、2月9日24時時点で全国の累計接種件数は延べ4,052万件。中国のワクチン接種者数の総人口に占める比率は3.56%。2021年6月末までには接種率40%を見込む。	・任意でワクチンを接種している日本人も出ている。 ・中国各地で中国企業との合弁会社、空港、港で勤務する航空会社、物流会社、生鮮食品部門などで働く日本人に対してワクチン接種の希望を聞かれるケースがある。 ・一方、大半の企業ではワクチンの接種方針は未定とみられる（武漢商工会アンケート調査）。	任意	未定	無料	n/a	2月25日の外交部発表によると、中国は53カ国にワクチン支援を提供し、27カ国にワクチンを輸出、引き続き各国とともに、ワクチンの世界的に公平な配分を推進すると表明。	3月4日	
英国	ロンドン	2020/12/8	①ファイザー・BioNTech（米・独）：12月8日接種開始 ②アストラゼネカ（英）：1月4日接種開始 同日時点での調達契約の状況は以下のとおり。 <接種開始済み> ③ファイザー・BioNTech（米・独）：4,000万回分 ④アストラゼネカ（英）：1億回分 <承認済み> ⑤モデルナ（米）：1,700万回分 <臨床試験または承認審査段階> ⑥Janssen（白）：3,000万回分 ⑦Novavax/FUJIFILM Diosynth Biotechnologies/GlaxoSmithKline（米日英）：6,000万回分 ⑧GlaxoSmithKline/Sanofi Pasteur（英仏）：6,000万回分 ⑨Valneva（仏）：1億回分 ⑩CureVac（独）：5,000万回分 （①～⑩計4億5,700万回分）	1回目：39.6% ※接種を1度でも行った人を18歳以上の人口（推計）で割った数値をジェットロで算出。 （3月3日時点）	・接種人数については不明。 ・対象は国民医療サービス（NHS）に登録されているGP（かかりつけ医）の登録者。 ・ワクチン（NHSを通じてのみ）接種可能。薬局での個人購入や私立病院での取り扱いはない。 ・GPの登録は、国籍や英国での滞在方法は問わず、誰でも可能としている。登録は無料。	任意	n/a（任意）	無料	深刻な障害（60%以上）が出た場合のみ、既存のワクチン関連損害賠償のスキームでカバー。	出所：英国政府ウェブサイト	3月5日（臨床試験または承認審査段階を3月30日に追記）	
フランス	パリ	1回目：12月27日 2回目：1月下旬以降	納入（デリバリー）ベースでの構成比は以下の通り（2月28日時点、フランス連帯・保健省） ①ファイザー・BioNTech（米・独）：77.7% ②モデルナ（米）：4.3% ③アストラゼネカ（英）：18.0%	6.1% ※接種を1度でも行った人を18歳以上の人口で割った数値 （3月8日時点）	・接種人数については不明。	任意	駐在員、現地職員と 政府が定める優先順位に従って在留邦人も接種を受けられる見通し	デクレ（政令）で無料と規定（ただし、フランスの社会保険料に加入していない邦人接種実績がないため実例なし）。	n/a	出所：仏連帯・保健省ウェブサイト、ECCDCウェブサイト。	2021年3月3日（ワクチン接種のみ3月8日）	
ドイツ	ベルリン	2020年12月27日	接種回数ベースでの構成比は以下の通り（3月3日時点） ①ファイザー・BioNTech（米・独）：3,75万1,132（82.6%） ②アストラゼネカ（英）：63万1,184（13.9%） ③モデルナ（米）：15万9,073（3.5%） ④は1度の接種で完了するため、すべて1度目の接種ベースでカウント	6.8% ※接種を1度でも行った人を18歳以上の人口で割った数値 （3月8日時点）	・接種人数については不明。 ・ドイツの公的医療保険若しくは私的医療保険に加入している、又は、住所を有するか日常的に滞在しているといった条件に該当する人は全て、国籍に関わらずワクチン接種を受けられる権利あり。 ・現在は、ドイツ政府が、新型コロナウイルスに罹患した場合の重症化リスクや職業上の感染リスク等をもとに定めた優先順位グループに基づき、ワクチン接種が進められている。	任意	n/a（任意）	無料	有	出所：邦人の接種状況に関する情報は在ドイツ日本大使館	2021年3月5日（ワクチン接種のみ3月8日）	
ロシア	モスクワ・サンクトペテルブルク	1月18日から原則として、希望者全員（18歳未満の者を除く）接種可能となった。第2回目の接種は第1回目の接種から21日後。	ロシア製100%（ロシア製第1のワクチン「スプートニクV」（ガマレヤ研究所）、ロシア製第2のワクチン「エビワココロナ」（国立ウイルス学・生物学研究センター））（2021年3月4日時点）	第1回目の接種を終えた人数は400万人（総人口の2.7%）超（2月26日付現地紙報道ベース）。出所：https://tass.ru/obschestvo/10793817	任意で受けた人がいるが人数は不明	任意	・公的接種場所では、外国人は長期滞在資格保有者のみとされ、駐在員は対象外とされている模様（2月17日までは、場所により外国人は誰でも受けられた）。 ・民間クリニックでは上記制限なく外国人が受けられるところがある。	無料（民間クリニックの場合は接種前診察が有料）	副反応が出た場合には通常の救急搬送処置が行われる。補償については不明。	特になし	3月4日	
米国	ニューヨーク	2020年12月14日	①ファイザー・Biontech（米・独）：51.1% ②モデルナ（米）：48.7% ③その他（不明）：0.1% （3月3日時点の使用状況）  ※2月27日にFDAが、ジョンソン・エンド・ジョンソンのワクチンを国内3例目として認可。 製薬会社別使用状況 ①ファイザー・ビオンテック（米・独）：782,824（72.1%） ②モデルナ（米）：302,952（27.9%） （2月20日時点） ③ペリディ薬品・インド血清研究所製造のオックスフォード・アストラゼネカ（加・印・英）：2月26日承認。3月3日50万回分到着 ④ヤンセン・ジョンソン&ジョンソン（ベルギー）：3月5日承認。1000万回分注文済み ⑤ノババックス（米）：審査中 ⑥サンofi・グラクソスミスクライン（仏・英）：審査中 ⑦メディカゴ・グラクソスミスクライン（日・英）：審査中	・1回接種済：5,285万人超（総人口の15.9%、18歳以上の人口の20.7%）。 ・2回接種済：2,693万人超（総人口の8.1%、18歳以上の人口の10.6%）。 （3月3日時点）	・各州ともワクチン接種について、住民の国籍制限などは設けられていない。但し、各州ともに優先計画に従って、現時点でのワクチン接種対象者が具体的に定められている。 ・在米の日本公使は、在留邦人に対して、必要に応じて医療機関などに相談の上、各自の責任でワクチン接種について判断するよう呼びかけ。	任意	政府が定める指針に従って米国居住者すべてが接種を受けられる見通し ・ほとんどの州でまずは65歳以上の高齢者にあたる市民が優先対象者。	無料	不明（そのような情報なし）	（出所） 邦人の接種状況はNY総領事館など		3月4日
カナダ	トロント	2020年12月13日の週から	①ファイザー・BioNTech（米・独）：782,824（72.1%） ②モデルナ（米）：302,952（27.9%） （2月20日時点） ③ペリディ薬品・インド血清研究所製造のオックスフォード・アストラゼネカ（加・印・英）：2月26日承認。3月3日50万回分到着 ④ヤンセン・ジョンソン&ジョンソン（ベルギー）：3月5日承認。1000万回分注文済み ⑤ノババックス（米）：審査中 ⑥サンofi・グラクソスミスクライン（仏・英）：審査中 ⑦メディカゴ・グラクソスミスクライン（日・英）：審査中	一回接種済み：4.09% 必要回数接種済み：1.47%	不明	任意	・カナダに居住する者、国籍不明（ファイザー＝BioNTech製）18歳以上、モデルナ製16歳以上、アストラゼネカ：18歳以上、65歳以上は接種しなくても推奨	無料	※連邦政府は2月24日、在カナダの密利、非営利団体への公募受付を終了。選定された第三機関はカナダ公衆衛生庁と5年契約にて「ワクチン備蓄支援プログラム」を運営する。	特になし	3月4日	
ブラジル	サンパウロ	2021年1月17日から	③アストラゼネカ(英)：26.8% ④シノバック(中)：73.2% ⑤スプートニクV(露)：国家衛生監督庁(ANVISA)承認に向け準備中 ⑥コバクシン(印)：ANVISA承認に向け準備中 ⑦ファイザー(米)・ビオンテック(独)：ANVISA2月23日に承認。	3.47%（3月4日/全国）	不明	任意	明確な規定なし	無料	ワクチン使用状況の出所：保健省ウェブサイト 接種進捗の出所：現地グローバル紙系ウェブサイト「G1」	3月4日		

国	報告事務所	一般状況			邦人への接種状況				備考	情報 とりまとめ日	
		接種開始時期	ワクチンの使用状況（製薬会社別構成比） ※使用状況がなければ調達状況	接種の進捗	邦人の接種状況	邦人への接種は 義務か任意か	邦人への接種の場合の 対象者： （駐在員（帯同家族含む）、現地職員）	費用 現地通貨 （円）			副反応が出た場合の健康被害救済制度 の有無
メキシコ	メキシコ	2020年12月24日から	（3月3日メキシコ到着基準） ①ファイザー・Biontech：55.9% ②アストラゼネカ：18.5% ③シノバック：21.3% ④スプートニクV：4.3% ⑤カンシノ：3月末から使用 ⑥シノバック：承認済み未着	2.09%（3月3日時点/全国）	接種人数については不明。	任意	住民登録番号（CURP）の所持者（駐在員・家族など居住者）	無料		ワクチン使用状況の出席：保健省記者会見	3月4日
アラブ首長国連邦（UAE）	ドバイ	1回目：12月11日 2回目：1回目の3週間後 ※シノファーム	【連邦全体で承認・使用】 ①シノファーム（中）：100% ②スプートニク（露）：緊急使用のみ 【ドバイのみで承認・使用】 ①ファイザー（米）：過半数（12/23接種開始） ②アストラゼネカ（英）：少数（2月初旬接種開始） ③モデルナ（米）：使用報道なし	人口100人あたり61.62回（3/2時点）	・自己判断で接種している日本人在住者は一定数いるが、正確な人数は不明。「様子見」としている日本人が大半。 ・ドバイにおいては、2月下旬よりファイザー製ワクチンの接種が本格再開され、接種に踏み切る人が増えており、3/2より接種対象者が（60歳以上から）40歳以上へと拡大されたことから、今後も接種者は増えると思われる。	任意	【連邦】 国民または居住者で、60歳以上または既往症保有者、フロントラインワーカー  【ドバイ】 国民または居住者で、40歳以上または既往症保有者、フロントラインワーカー  （3/4現在）	無料	政府にて無料で処置する。	特になし	3月4日
イスラエル	テルアビブ	1回目：12月19日～ 2回目：1回目の3週間後～	ファイザー100%	人口100人あたり96.07回	・外交団（大使館、JICA関係者）：イスラエル政府の各国外交団への配慮の一環として接種機会を提供 ・HMOに加入する邦人：HMOのシステムの中で一般のイスラエル人と同様に接種可能 ・HMOに加入しない邦人：当初接種機会がなかったが、テルアビブ市およびイチゾフ病院の施策により、無保険である外国人（主にアフリカ等からの難民申請者を想定）に対しても接種を開始したことにより、HMO未加入の邦人も接種可能となった。	任意	制限なし	無料	不明	特になし	3月4日
南アフリカ共和国	ヨハネスブルク	2月17日	①ジョンソン・エンド・ジョンソン（米）950万回分（2月17日の接種に使用） ②ファイザー（米）2,000万回分 ③COVAXファシリティ1,200万回分（200万回分を3月までに入手予定）	約7万6,000回接種、人口比約0.1%（3月2日時点）	情報なし（まだ開始されていない）	情報なし	情報なし	情報なし	情報なし	特になし	3月8日

（出所）各種資料を基にシエトロ作成